

Greenthumb

2023.vol.20
NPO法人秋田グリーンサム倶楽部

奇跡を呼ぶみどりの指

自然資本主義は豊かな心の稟性

美意識は社会資源です

CONTENTS

2023.vol.20

- 庭師 杉村文夫 創造の真髄—— 観音曼荼羅 補陀楽山「梵音庭」第一次作庭…2
- 地域と一体化できる民間主導型の社とガーデン 発信力豊かな空間に…3
- ぶどうの苗木を植栽してから4年、ワインづくりいよいよスタート…4～5

★Enjoy Park Project♪

- ・秋田グリーンサムの社…6～7
川上敦久 珈琲講座 ～珈琲の魅力をアップデート～
夏休みの思い出づくり ～親子DEプチキャンプ！～
パークゴルフ場コースリニューアル！
- ・秋田県立小泉瀧公園…8
ストライダーで「蹴ったバイクレース」開催
- ・秋田県立北欧の杜公園「北欧の杜公園の秋祭り2022」開催…9
- ・男鹿総合運動公園「おがそらキャンプ2022」…10
～地域資源に気づききっかけづくり 多様な魅力溢れるキャンプの新しいカタチ～
- ・秋田県生態系公園…11
自然を生きし遊べる生態系公園のマルシェ「カタマルシェ」
あったかワンダーランド！真冬の花の競演♪
- ・湯上市立 天王グリーンランド…12

■各種情報…13

- ・秋田県安全・安心まちづくり功労者表彰受賞
- ・株式会社ネクスメンテナンス東北主催/令和3年度優秀工事表彰受賞
- ・2022年度雄物川河口右岸クリーンアップ

★Mutsumi creations

- ・県南営業所/岩手営業所…14～15
美しい空間を創造する 未来を担う若き仲間たち…16～17
- ◆日本造園学会東北支部秋田大会 in 大館市…18～19
～みちのく観光資源を活用した取り組みから 地域創生への展開～
- ◆2022 Green & Flower Fes in AKITA…20～21
～造園のエキスパートと、花のプロ集団との新たなコラボ～
- 宮崎県都城市からほっこりする話…22～23
石川理紀之助翁がつないでくれた縁、秋田と宮崎の交流
～山田のかかし笑劇団有志から届いた「ふ・ふ・ふ」なお便り～

2025年6月グランドオープン!



二三年前からか、会社の園場の一面に「宇宙」をテーマにした枯山水の庭を作ってみると会長「吉和氏」から言われ続けてきたが、ハテ、そんな禅の公案の様な。いろいろと提案もしたがどれもイマイチ。
 「丁度間の悪いことにカミさんの具合も悪く、自分の右膝には水が溜まり、足を引く状態、スタッフは居てもラインもかたつての庭苑課諸君は今や無し。物事は気の合ったスタッフとラインが揃って生きる。従ってヤル気もさっぱり出てこない。
 この春、それらのメインス要因が一挙に払われた。スタッフが三浦顯見さんのグループ、ラインには私と渡瀬さん、前山収さん、米沢屋進司さん、そしてバックホーのオベ三浦祐介さんの五人。このメンバーで土の工事、山、川づくり、続く石組。これを四月二十六日から七月二十四日まで一気呵成の作業。後、一週間ばかり男鹿磯石コロタ敷きを行ってひとまず休止となった。その記録をフリースターさんがまとめてくれた。
 途中の「土」と普通に休んではいたが、何せ現場作業はずっと無沙汰だったところ、暑い日が続いたものだから、ヘトヘト、息も絶え絶え、一日休んでも疲れは抜けぬ。しかし石は山ほどあるし、かいたもまだまだ。どこぞの元レスラーではないが、気合だ、気合だ、気合だ!」七月二十四日、あれだけあつた石が無くなった。

庭師 杉村文夫 創造の真髄 観音曼荼羅 補陀樂山「梵音庭」第一次作庭



昔の親方は詳しい図面もろくに引かず、阿吽の納得づくで現場に乗り込んだものだというが、今回はそれ。図面を引かず現場に合わせての出たと「勝負」と言うのは実はこれが始めて。
 バックホーで山を盛り又削り、地形をつくってそこに石を一つ一つ置いてゆく。「一つ、また一つと前後左右更には全域の空間との関係性、バランスを視作り、いけばなと同じで、石を活けるのである。これが石組。土の工事と石の造型、これぞ日本式庭園!」
 この石組主体の庭づくりは桃山、江戸初期をピークに、後は風情、情緒、雰囲気等々、四季を、植物を、自然を、そのまま市の中に取り込んだカタチが主流の、いかにも小市民的なものが主流となる。そのまま美術品である石像物にコケをつけて喜んで、自然を尊ぶのは古来からのものだ。この表現には写真写生と写意象徴があるが、桃山、江戸初期の石組の庭は、自然を象徴した写意的表現で、それ自体素晴らしい造形物であった。これが時代が下がるごとに、写意から写生へと変わった訳だ。それだけ芸術としての偉大さは縮小してゆくだろう。(写真・写生に偉大なものが無いと言っている訳ではない。)
 昨年、旧文を死蔵しておくのもどうかと思いたち、「日本式庭園」として石組と竹垣の冊子をつつたが、今ここに実際の枯山水の姿として、桃山、江戸初期の向こうを張って思い切りやってみたのが「いいか、わるいか、兎に角一所懸命にはやった。はじめまして、小堀遠州ではないが、費用おかまいなし、期限おかまいなし、差し出口ご無用のこと、こんな条件の仕事はない。これで行ったのだからこれが自分の限り。いいか、わるいか。」

地域と一体化できる民間主導型の 杜とガーデン 発信力豊かな空間に

二〇一六年、「秋田グリーンサムの杜」第一期工事が終了、第二・三期整備プランも二〇二五年を目指し、現在進行形で着々と整備され、世界平和の願いを感じられる花と緑に囲まれた杜が実現されつつあります。

第一期工事では、パークゴルフ場をはじめ、小規模イベントや、講習会の可能なカフェスペース、野外ライブや各種発表会などができる杜のステージ、森の学校エリア内にある杜の舞台など、充実した設備が完成しました。森の舞台は開放的な空間ながら屋根がついているということもあって木工教室や屋外キャンプの集いの場としても利用されてきました。また、グリーンサムの杜の正面入口横には「杜のさんぽ駅」が、つくられ、手軽に使えるトレーニング器具、公共のトイレも整備されており、地域住民の憩いの場として定着しています。

そして二〇二二年夏、杜のみどり舞台の奥に二か所、広さ七千五百㎡と約九千㎡の「スポーツターフ多目的広場」が整備されたことは、大きな話題となりました。現在は主に地元企業のサッカー練習場として利用されていますが、今後はグリーントーフを生かした各種スポーツイベントが開催される期待感も出てきています。

同じく二〇二二年、「むつみガーデン」の敷地内に念願の「むつみワイナリー」が完成し、九月二十八日に竣工式が行われました。

竣工式の神事には関係者約二十名が集まり、東湖八坂神社の宮司・鎌田利謙氏が斎主を務め祝詞を奏上、これから本格的に始動・操業するワイナリーの安全と、味わい深いワインができるよう祈願しました。

第二・三期整備プランでは、引き続き自然環境を担保しつつ、老若男女が集い、心身の健康や身体(からだ)の手入れ、人びとの心のメンテナンスと生活文化を充実させ、教育・農業・緑産業の経済活動の場として、市民一人ひとりの居場所や、地域コミュニティづくりの場としての活用を目指します。具体的には、杜の沿道沿いに歩道と林帯駐車場を整備し、野生緑化園や自然花園エリア、植物アートエリア、果樹アート作品広場：等々、緑産業の創造ビジョンは、限りなく広がります。独創的な彫刻が目を見張る、杜のアートエリア作品にも触れながら、日々進化する空間を全身で感じ、楽しんでもらえたらと思います。「秋田グリーンサムの杜」は、「むつみガーデン」と共に二〇二五年六月、グランドオープンです。

詳しくは下記までお問い合わせください。

●むつみ造園土木(株)湯上本店(グリーンサムガーデン)
 〒010-0201 秋田県湯上市天王字棒沼台306
 TEL 018-878-2011 FAX 018-878-4963

ぶどうの苗木を植栽してから4年、 ワインづくり、いよいよスタートしました！

収穫されたブドウは、熟しすぎた実などを取り除き、ひと房ひと房丁寧に選別しワイナリーに持ち込みます。梗（じく）を取り除いた後で、醸造の工程に入ります。



↓ ワイナリーへ！



▲パンチングダウン（搾入れ）の様子

▲除梗破碎の様子



ワイナリー立ち上げスタッフから
お話をうかがいました

★河村さんと二田さんは、どういった経緯で、醸造担当になったのですか？

河村：二年前、カーテンで新事業を創めるという話があり、敷地内にワイナリーを創設するというののでワイン好きな自分にも声がかかりました。当初は国の補助事業となるために六次産業化の総合事業計画の認定をしてもらうべく手続きから始めましたが、補助事業は諸々制約があるため、補助金なしで事業を立ち上げることになり、そのまま手伝いを継続することになりました。

二田：これまで四十二年、日本酒の醸造の仕事をしていました。退職し、親の介護も一段落ついた頃、ワイナリー計画を聞きました。ご縁があれば関わりたいと思い、本を買って日本酒との違いを独学で調べたり情報を集めていたところ、声をかけていただきました。
★具体的にどういった仕事をされていますか

河村：ワイン設備全般を扱っているメーカーから設備の提案をしてもらい、昨年、鹿角市のワイナリー「このはな」に研修に行った際に得た知識をもとに色々調べたりして、醸造に必要な商品のリストを作りました。また、酒造免許の申請書を作成するのが大変でした。免許が下りるのに予想以上に時間がかかりましたが、先日許可が下り、胸をなで下ろしているところです（笑）。

★今後の運営に関して、意気込みなどお聞かせください
二田：地元で採れたぶどうを生かしたフルーティなワイン、お客さんに好まれる商品を作りたいです。ゆめゆめは地元にある菌で作った酵母を使ってみたいです。河村：同感です。まずは誰でも気軽に楽しめるものを目指したいです。海の幸に合う赤ワインも作ってみたいですね。あとは、早く収支がとんとんになるよう努力するだけです（笑）。

場所：むつみガーデン



磁器のワイン用カップ

陶芸教室「華宵」主宰の伊藤久美子先生が、新生ワイナリー誕生を記念した、新しいワイン用カップの創作に挑戦されています。
ガラスではなく焼き物でワイン用カップを「創る」という、むつみの「創造の真髄」を反映した、新しい試みです。
今出来上がっているのは陶器製で、土着的な表情を魅せ、まさにこの渦上で生まれた経緯を表現するのにふさわしく、景色のうつろいを写し取った作品に仕上がっています。
そして現在チャレンジしているのが、高温で焼成されるので



吸水性がなく丈夫、そして叩いた時に良い音を発する磁器製のもの。材質や絵柄だけでなく、ワインの色や香りとのバランスが取れるよう、器そのものの形に試行錯誤しています。



陶器のワイン用カップ

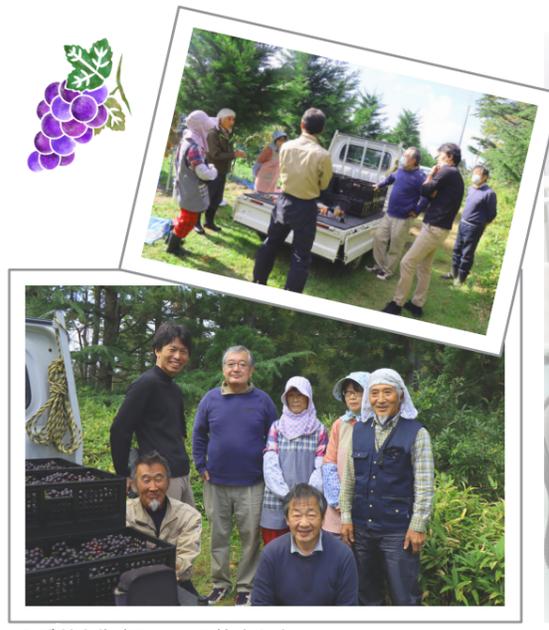
令和4年9月28日 ワイナリー竣工式 神事の様子



▲厳かに神事が執り行われました

▲ワイナリーの清拭い

▲四方祓いをする宮司の鎌田利謙氏



▲ブドウ生産チームの皆さんと

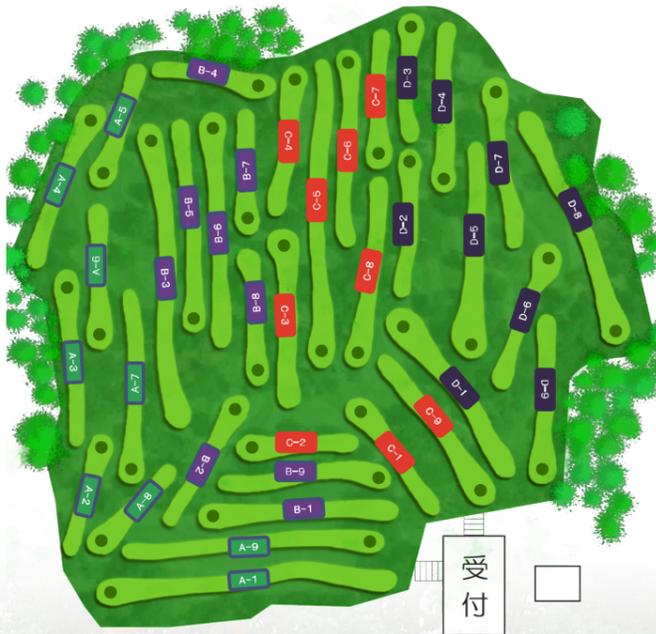


▲ワイン醸造担当のセラーマスター・二田誠さん（左）、コーディネーター・河村守信さん（右）

◆ パークゴルフ場 コース案内 (全4コース)

A あかしや			B ゆりのき			C さくら			D やまぼうし		
ホール	距離m	パー	ホール	距離m	パー	ホール	距離m	パー	ホール	距離m	パー
1	100	5	1	65	4	1	40	3	1	40	3
2	40	3	2	40	3	2	33	3	2	68	4
3	60	4	3	95	5	3	55	4	3	42	3
4	50	4	4	35	3	4	45	4	4	60	4
5	35	3	5	65	4	5	95	5	5	65	4
6	44	3	6	64	4	6	65	4	6	40	3
7	55	4	7	30	3	7	30	3	7	50	4
8	30	3	8	47	3	8	72	4	8	92	5
9	80	4	9	50	4	9	49	3	9	42	3
TOTAL	494	33	TOTAL	491	33	TOTAL	484	33	TOTAL	499	33

◆ コース概略図



受付

秋田グリーンサムの杜パークゴルフ場は、七月にコースをリニューアルいたしました。新コースは、主にOBゾーンが増え、より戦略性のあるコースになったこと、隣のコースと接触しないよう広々とした幅の、全コース最大100m近いロングドライブを設定(A-1、B-3、C-5、D-8)。

距離が伸びたぶん余裕もでき、より一層伸び伸びとお楽しみいただけます。何よりドッグレグがなく全てホールインワンを狙えるのが、満足のいくコースの要となっております。

また、初心者の方や、クラブやボールなどプレーに必要な用具がない方も、無料で貸し出ししておりますので、気軽に始めることができます。雪がなければ通年営業しておりますので、ぜひ新しくなったパークゴルフ場に遊びに来てください！



パークゴルフ場 コースリニューアル!

仲間たちやご家族と和気あいあい、
お一人でもマイペースに・・・
それぞれのスタイルで、
思う存分プレーを楽しんで!

ロングコースがより長く！
東北最大級の長さです。
とばしたい人はぜひ、
思いっきりどうぞ!

▲新コースをレイアウトされた
競技委員長の三浦 顯児氏

ほどよい傾斜と芝生のグリーン。
ところどころに生えている樹々が、面白いコースに
一役かっています。杜を囲む小道には木材チップが
敷き詰められて、小道の奥には美しい林があります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

●秋田グリーンサムの杜パークゴルフ場
〒010-0201 秋田県潟上市天王細谷長根127
TEL 018-878-3986 FAX 018-878-2950

川上敦久 ~珈琲の魅力をアップデート~ (令和5年度)



9月29日(木)杜のカフェにて、名古屋の珈琲豆焙煎士・川上敦久さんによるコーヒー講座が行われ、香ばしい香りに包まれながら約20名が集まりました。この講座は、川上さんが焙煎したこだわりの珈琲を企画販売する「COFFEE.K株式会社」代表の長島宏司さんが、高品質な炭火焙煎珈琲の伝道を通じ地方に貢献したいという思いから、はるばる名古屋よりご先祖に縁を持つ秋田県に訪れ、わが社での開催の運びになりました。当日は、実際にお店で販売されているコーヒーをハンドドリップの実演をいただき、香り高い美味しいコーヒーをサービスするための講習をしました。



一杯の珈琲から♪
ご縁が生まれる
こともある月



「チーム長島(←勝手に命名♪)」の皆さん

川上さんが「炭火焼」にこだわる焙煎士となるに至った経緯や人生の分岐点、挫折した経験なども話され、それを経て今の活躍があること、「焼きたて挽きたてが必ずしも旨いわけじゃない。お客さんの思いを受け取り毎日同じ味にすること。それが大事。それぞれ憩いの場で、最後まで美味しく飲んでいただけたのなら、それが正解」と言う言葉が印象的でした。これからの、わが社でのサービスのあり方の参考となり、「チーム長島」との関わりにも、今後期待できそうです。



真剣に話を聞く参加者の皆さん



長島さんの奥様・早苗さんは、ガラスアートを中心に押し花・レカンフラワー・カリグラフィー・フレンチデコ等のクラフトが学べるサロンを横浜で開いていらっしゃる、押し花絵作家としてご活躍をされています。多くのカルチャー講座で講師を務められ、ガラスアート、レカンフラワーは本部講師として技術伝達で全国を回っておられるようです。いつか秋田にも来ていただき、その作品を間近に見てみたいですね。

親子DE
プチキャンプ!

Enjoy Park
project♪
in 秋田グリーンサムの杜

夏 休みの
思い出づくり

サウナ&シャワー

高さ10mの物見やぐら

8月6日・7日の2日間、秋田グリーンサムの杜のキャンプサイトで「親子DE プチキャンプ!」を開催、3家族にご参加いただきました。町から意外と近い場所にキャンプ地があることが新鮮だったようで、子どもたちは「虫捕りできるんだね」と言いながら、虫捕り網を振り元気に走り回っている姿が印象的でした。たくさん遊んで汗をかいた後は、大型簡易プールやシャワー、サウナ、お風呂も楽しんでいただきました。今後は、お客様の要望にあったイベントキャンプやソロキャンプへの期待にも応えていきたいと考えております。

青空のもと、ちっちゃな体で

おっきなアクティビティ！

子どもが気軽に乗れる ストライダーで 「蹴ったバイクレース」開催

7月3日（日）、秋田市にあります小泉瀉公園で「蹴ったバイクレース」を開催しました（ムラサキスポーツ共催）。ストライダーは、足で蹴って進む二輪車で、子どもが三輪車を通せず自転車に乗れるようになるという評判もあり、その人気はじわじわと広がってきています。



当日はストライダー専用のアドベンチャーゾーンを設置、2～6歳の子どもとその保護者30組が参加しました。まっすぐゴールに突き進む子、ゆっくりマイペースで進む子、ゴール手前でストライダーを手放し親の待つ方にまっすぐ駆け寄る子…。レースという形態のイベントではありませんが、「それぞれのゴール」を元気に目指してもらえたようで何よりです。小泉瀉公園パークセンターでは、ストライダーの貸し出しをしており、体験会も随時行っています。是非一度、体験してみてくださいね。



▲元気に走り出す子どもたち

動画は
コチラ！



賞品を手にとニコニコ！▲

▲北欧の杜でのレース▲

▲カート試乗体験

▲芝刈機の搭乗体験

▲ボルダリング

「北欧の杜公園の秋祭り 2022」開催しました！

北秋田市にあります北欧の杜公園では、9月24、25日に「北欧の杜公園の秋祭り」を開催しました。クラフトゾーンあり、飲食ゾーンあり、体験ゾーン、スポーツ&アウトドアゾーンあり、ミニコンサートあり、トラクター馬車や芝刈り機軍団ありの、興奮と安らぎの楽しい2日間となりました。

また、同時開催として、ランニングバイクのストライダーによる「蹴ったバイクレース」が行われ、県北を中心に青森、宮城、山形、遠くは東京から約60名のちびっ子が参加しました。最初に開会式で全体写真を撮り、年齢別（2歳～）に予選を行い、セミファイナル、敗者復活、ファイナルとレースが進み、親子共々大変盛り上がりしました。最後に表彰式が行われ、年齢別1位から3位とグッドパフォーマンズ賞、参加賞を各自いただき、楽しく終了しました。緑の芝生が、ちびっ子達のお陰で光り輝いていた一日でした。

バナナボートに乗って冬の北欧の杜を楽しんで！



スノーモービルで牽引して公園内を巡るので、大自然の冬の公園を満喫することができます。冬装備のレンタルもあるので安心♪（有料）

★料金…1人1回500円（※小学生以上）
★パークセンター窓口で受付・チケットをもらったら「みんなの休憩所」手前の 発着所「杜の駅」へ。

ドッグランのアジリティ リニューアルしました♪

4月7日、北欧の杜公園内の「ドッグラン（犬と飼い主が楽しく過ごせるよう整備されたエリア）」のアジリティ（コース上に置いたハードル、トンネル、シーソーなどの障害物）をリニューアル。雪がとけたらぜひ愛犬と遊びに来てくださいね♪



★ ストライダー受付・貸し出し ★

2時間 100円（対象年齢…小学生以下）
北欧の杜公園パークセンターにて

●秋田県立北欧の杜公園パークセンター
〒018-78-3300 秋田県北秋田市上杉字中山沢128
TEL 0186-78-3300 FAX 0186-78-2452

★ ストライダー受付・貸し出し ★

2時間 100円（対象年齢…1歳半～5歳）
小泉瀉公園パークセンターにて

●秋田県立小泉瀉公園パークセンター
〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後谷地21
TEL 018-873-5272 FAX 018-873-7313



◀10月のマルシェの様子

竿燈妙技や和太鼓演奏、親子ヨガなど、芝生でのパフォーマンスもあり、皆さんそれぞれに楽しまれたようです。
来場者数は約三千二百人以上。事故もなく、大好評でした。
十月二日のテーマは「自然とふれあえる生態系公園でアートにふれよう！」キッズバイクやフィールド遊び、トラクター馬車などで自然を体感し、素材にこだわったグルメリを堪能したり、日ごろ触れ合えないアートを体験する絶好の機会となりました。来場者は春の開催を上回る約三千五百人。お天気に恵まれ、皆さん天高い秋を満喫しました。



▲6月の親子ヨガの様子

六月二十六日と十月二日の二回、生態系公園で「カタマルシェ」が開催されました。このイベントは、オーガニック（有機農業）やSDGs（持続可能な開発目標）を推進している農家やキッチンカー・飲食店の出店、パフォーマンスなどをおして、自然環境やごみ問題を楽しくみながら学習し、生態系公園を利用しながら施設の魅力も知っていただくことを目的に、初めて開催されました。

自然を生かし遊べる生態系公園カタマルシェ

青空ヨガ



スラックライン



朝の気球フライト



地域資源に気づくきっかけづくり
多様な魅力溢れるキャンプの新しいカタチ

男鹿総合運動公園を会場に、10月1・2日の2日間「おがそらキャンプ2022」を開催しました（スポーツ協会・正和会・むつみJV主催）。
キャンプを気軽に楽しめるだけでなく、体育施設・屋外設備を活用した様々なアクティビティを準備。夜は打上花火があがり、朝は気球のフライトが行われるなど充実したメニューでとことん楽しむことのできる総合イベントとなりました。
天候にも恵まれ、「男鹿のそら」を眺めながら、参加者たちはそれぞれ特別な2日間を過ごされたようです。
今年初の開催でしたが、来年も開催して欲しいとの声もあり、更に魅力的な施設・企画となるよう工夫していきます。

夜のキャンプサイト



詳しくは下記までお問い合わせください。

- 男鹿総合運動公園（一般社団法人男鹿市スポーツ協会）
〒010-0502 秋田県男鹿市船川港比詰大沢田304
TEL 0185-23-3040 FAX 0185-23-2530

詳しくは下記までお問い合わせください。

- 秋田県農業研修センター 生態系公園
〒010-0442 秋田県南秋田郡大湯村東1-1
TEL 0185-45-3106 FAX 0185-27-8474

あったかワンダーランド！
真冬の花の競演月

◀キンカチャの見ごろは1月

▼ドンベア・ウォリックの見ごろは2月



◀オレンジトランペットの見ごろは12月～1月

秋田の冬は、やはり寒いですが、しかし生態系公園の観賞温室は、暖かさで花に癒されます。
寒い時期ではありませんが、これからの時期、他ではなかなか見られない珍しい花たちが咲いてきます。初春を華やかに彩る珍しい黄色いツバキ「キンカチャ」は、少し小ぶりでもう細工のような艶のある黄色の花と光沢のある長い葉が特徴となっています。また、県内では当温室内で見ることのできる、鮮やかなオレンジとトランプレッドに似た花の形が美しい「オレンジトランペット」は、甘い香りがして、小さなピンク色の花が集まりくす玉のように丸く、垂れ下がった大きな花の塊が楽しい「ドンベア・ウォリック」もこれから花盛りとなります。姿や色はもろろんのこと、香りも楽しんでいただきたいと思えます。



秋田県安全・安心まちづくり功労者表彰受賞



▲表彰状を手にする佐々木吉和会長



令和4年度の「秋田県安全・安心まちづくり功労者」は、「仁井田路っこパトロール隊（秋田市）」、「パークエンジェルス（潟上市）」、「小林重信氏（大館市・川口子ども守り隊）」の2団体1個人が選出され、10月13日、秋田県庁にて表彰式が開催されました。我が社の「パークエンジェルス」は、佐々木吉和会長が代表で表彰式に出席、表彰状を授与されました。

「パークエンジェルス」は、わが社が指定管理をしている公園の利用者の安心・安全パトロール隊として平成21年5月に発足。その後青色灯を点灯し、地域の安全パトロール隊として登下校する子どもたちの見守りや危険箇所の見回りを続けて参りました。

活動にご協力くださる地域の方々の社会に奉仕する温かな気持ちに、改めて感謝申し上げます。引き続き、見守り活動を継続します。



▲県庁で行われた表彰式、受賞者の皆さんと。
(一番左 佐々木吉和会長)

株式会社ネクスメンテナンス東北主催



【受賞工事名】
横手管内目地防草シート設置工事
横手管内リサイクルチップマルチ工事

**令和3年度優秀工事
表彰受賞しました**

株式会社ネクスメンテナンス東北様より、令和四年六月十四日、令和三年度優秀工事表彰を受賞しました。

これからも工事の施工にあたり、安全衛生の重要性を深く認識し、無事故・無災害を目標に、積極的に安全意識を持ち、労働災害防止に努めていきます。

い〜い汗かいて、ピッカピカ★

10月8日（土）、NPO法人秋田パドラーズが主体となって実施する「2022年度雄物川河口右岸クリーンアップ」に、当社スタッフもボランティアとして参加しました。当日は朝9時集合、参加者は笑顔でゴミ拾いに汗を流していました。

このクリーンアップ活動は、綺麗な川と川岸を守るため、「クリーンアップ大作戦〜ごみを捨てる人はごみを捨てない、自然環境を守るのは貴方だ!〜」をキャッチフレーズに、2003年から雄物川環境保全を目的に、一般のボランティア、国土交通省並びに秋田県、秋田市などの参加で毎年開催しています。



★第4回ガーデン&マーケットinあきた

「第4回ガーデン&マーケットinあきた」が5月14～15日（土～日）の両日天王グリーンランドで行われ、県内外の園芸店や雑貨店、グルメ及びワンちゃんブースなど83店舗が出店しました。イベントは「植物と共に楽しむ暮らし」をテーマに県内外の業者と潟上市都市公園6施設指定管理者、天王グリーンランドで作る実行委員会及び指定管理者が協同企画したもので、今回が4回目。初日は雨模様となりましたが、2日目はお天気に恵まれ約21,000人以上の来園者が訪れ、賑わいました。



Enjoy Park project
in 潟上市立天王グリーンランド

★フラワーバイキング

10月14日（金）、食彩館なっばハウス前広場で、参加者に好きな花をバイキング形式で選んでいただき、持ち込んでいただいたお気に入りのプランターに植え付けを行うイベントを行いました。



★天王グリーンランドイルミネーション

天王グリーンランドでは公園内の木々や正面ロタリーにイルミネーションの取付を行い、11月23日（水）より点灯を開始しました。今年はイルミネーションのLED電球数を昨年より増やして35,000球とし、色とりどりに輝くイルミネーションによりご来園者楽しんでいただけるようにいたしました。

点灯期間…2023年2月中旬頃迄の16:30～22:00

★市民ギャラリー阿吽での取り組み

「小柳力彫刻展」10月17日（月）～30日

彫刻家として今まで国内外の数々のシンポジウムや美術展に参加、受賞され、秋田県彫刻連盟の会長として長らく秋田の美術文化の振興と発展に務められてきた小柳氏の彫刻作品展を開催いたしました。

この展覧会は「潟上市民に感謝を込めて」と小柳氏の熱い思いにより開催されました。



★ギャラリーコンサート

4月～9月まで月1～2回程度の開催

ギャラリーの展示を楽しみながら室内でのコンサートをご来場者楽しんでもらうことを目的に、秋田県内外で広くオカリナの演奏活動で活躍され、講師として後進の育成



にも積極的に取り組まれている湊由美子様と湊敏雄様と潟上市内のお仲間によるオカリナ・フルートの演奏やヒーリングバンドMu〜むう〜にとる演奏会を開催しました。



ハートロックを探そう!

天王グリーンランドの敷地内に5個のハート形の石を置き、全ての石をスマホやデジカメで撮影した画像をパークセンターにお持ちいただき確認した方には、もれなくパークセンター職員手作りによる景品を差し上げます。

このイベントは、積雪によりハート石が確認出来なくなるまで行う予定です。

★冬季イベント実施の取り組みについて

「花火と音楽を楽しむイベント」仮題

天王グリーンランドを会場に「花火と音楽（DJ）イベント」の開催を、潟上市内の有志とともに令和5年2月4日（土）の実施に向けて取り組んでまいります。



盛岡市動物公園 ZOOMO 再生事業

里山環境 + 動物園 + 公園が合体した
「ここだけの楽しさ」をめざしてー

サバンナエリア



▲ 獣舎やブロックを塗装し人工物を目立たなくすることで、動物をより身近に体験できる居場所を設けます。

盛岡市動物公園「ZOOMO」は、令和5年春の新生「ZOOMO」リニューアルに向けたランドスケープ工事をむつみ造園土木株式会社が担い、令和3年10月より工事中です。

老朽化した舎の修復・改修工事のほか、これまでの道路中心の体験から、エリアとエリアの重なりにより次の空間に誘われ、その中の移動体験を目指す「物語のある園路」を創出、新しい視点からのアプローチとなっております。

※リニューアル工事にかかる休園期間
令和3年9月29日～令和5年春



新機材導入♪ ～杭ナビ～

「杭ナビ」は、トプコン社のトータルステーション（光やレーザーを放射し、それが反射して戻ってきた時間を測ることによって距離や角度などを計測する機器）で、杭打ち、墨出しなどに使用。特徴は、「通常、複数人で行う作業が、1人でできる使いやすさ」で、電源を入れるだけで自動で座標取得、自動整準をする機能があり、操作ボタンも少なく、誰でも簡単に作業できる利点があります。

さらに、スマホ対応のアプリを使用して、3次元設計データの杭打ちや、放射観測による3次元測量が行え、結果、作業の効率化、コスト削減につながります。

フラワーパーク完成!

横手市にある秋田ふるさと村では、「秋田ふるさと村・はな花集客プロジェクト」を企画し、ガーデン花壇を設置しました。このフラワーパークでは、一年草や多年草など数十種類の季節折々の花が、春～秋に見ごろを迎えます。そんな季節ごとに咲く花を楽しみながら、花の管理のボランティアやイベントなどを通し、新たなコミュニケーションの場となることを目的としています。
この花壇のデザインは、わが社の上村周平と石黒春花が担当しました。



▲ ふるさと村の中を1周15分かけて走る「マックストレイン」に乗って、市内を一望♪
料金 / 高校生以上 ¥450・3歳～中学生 ¥250

春色花フェスティバル



令和四年三月三日～七日、「春色花フェスティバル」が横手市の秋田ふるさと村ドーム劇場で行われました。洋ランやクリスマスローズなど多彩な草花が会場を彩るこのイベントは、秋田ふるさと村とで毎年開催し、今回で十二回目の開催となりました。

明るい花々に囲まれ
ひと足早い春を

クリスマスローズは豊富な花の種類が並び、洋ランなどの花をふんだんに使った目を見張るほどの大型ディスプレイ展示には、たくさんの人が集まり、写真を撮ったりしていました。
クリスマスローズの新品種「ヨルラス」は、リゲルとリビダスの交配から生まれた遅咲きの品種で、丈夫でたくさん花をつけます。
そのほか洋ランコンテスト、ガーデンニング用品や花苗販売、ワークショップ等様々なイベントが行われます。次回は令和五年三月二日（木）から六日（月）の五日間の予定です。





佐藤 公介
グリーンキーパー9年目

長内 麻以花
グリーンキーパー4年目

令和4年8月1日から新たにぎわい創出の場として使用されている、秋田駅西口駅前（芝生）広場を管理している長内麻以花さんと、主に秋田グリーンサムの杜パークゴルフ場・サッカー場など芝の管理をしている安藤立星さんに、お話を聞きました！

美しい芝を守る
Green Keeper



安藤 立星
グリーンキーパー1年目



● 仕事の流れを教えてください

毎月役所に提出する資料（写真帳・業務日誌・報告書）の為の記録、関係方々との連絡調整、次の月間工程表作成などです。

● 管理の苦労点、こだわりは？

人の往来が多い場所での作業ですので、立入禁止の標識を立てるなど、第一は事故が起こらないよう常に気を配っています。

また、芝の管理に対しては、秋田駅前のメイン広場ということで常に人目につく場所なので、現場は天気や芝の状態を見ながらメンテナンスしています。

大変なのは、お盆前後のイベント後、車が乗り入れた後の潰れた芝がないかチェックし、重い物の置きっぱなしや、飲料が下に落ちてその場所が熱によって芝が焼けてしまった部分の集中的なケアです。とはいえ、皆が憩う場所ですので、ここを使う方たちが快適に過ごせるよう縁の下の力持ちとしてメンテするのが私たちの仕事だと思っています。

● 今後の目標を教えてください

最近、そこを通った一般のお客さんから「綺麗になったね」と声をかけられます。個人のお客から「また来年も頼むね」と言ってくれれば、「やった」感があります。現状に満足せず、お客さんに納得してもらえるような整備と、市の公共に配慮しながら環境に合った運営を心掛けていきたいと思っています。



8月の散水の様子



フラワーメイトさんたちと一緒に雑草とり



ゴルフカートのメンテも

● むつみにいったきっかけは？

昨年、ブラウブリッツのインターンシップをきっかけに、ここにサッカー場ができてブラウブリッツが使うと知りました。

ブラウブリッツでは運営・プロモーションで働いている中で、芝生がらみのイベントをしようとグリーンキーパーさんから色々学ぶ中で、裏方として関わる新しい面白さが見えてきました。

もともとサッカーをやっていて、今も天王南中学校の外部コーチをしたり社会人フットサルチームに所属したりしていますが、「サッカーを軸に色んなかわり方をしてみたい」と思いました。

● 管理の苦労点、こだわりは？

「別世界に来た」と思いました。刈り目、機械の不具合、どれをとっても知らないが故の難しさにぶち当たり…学びばかりでむしろ新鮮です。杜では、グリーンキーパーの鈴木さんに、「自分のやりたい仕方です」と、先輩が整えたベースに細かい部分を任せてもらっています。

芝生の状態もあるけれど、グリーンキーパーそれぞれでやり方が違うので、そこはこだわっていききたい部分です。

● 今後の目標を教えてください

まずは、安心して仕事を任せてもらえるよう、基本の「き」を自分のものにしたいです。いつかは自分が見本になれるよう勉強していきたいです。



● 今年手がけた作業概要は

工期：4月18日～12月31日
作業範囲：秋田自動車道 協和インター～能代南インター、日本海東北自動車道河辺JCT～岩城インター
作業内容：芝刈、休憩施設草刈、芝生除草剤散布、高架下草刈、樹木剪定

● 全作業終了の感想をお願いします

今年度は新たな工種として休憩施設草刈、高架下草刈、樹木剪定が追加されました。昨年までとは違い、料金所のみならず、PA、SAと言った休憩施設での作業があり、利用者のご迷惑にならないよう、また、利用者への安全第一を考え、安全規制を徹底しました。

元請会社担当者として毎日のように情報・連絡交換を行い、日々の報連相とコミュニケーションを大切にしました。(株)ネクスコメンテナンス東北さんでの年間管理現場を担当して1年目でしたが、上司や先輩の支えもあり、無事故、無苦情で作業を無事終えることができました。

また、今回の作業で、休憩施設の芝刈後にお客様が犬を連れてこられており芝生の上を犬が楽しそうに走り、それを見てお客様が笑顔になっていることが印象的で嬉しい気持ちになりました。今後もメンテナンス担当者として誰かに喜んでいただいたり、笑顔のきっかけをつくる緑地管理を行って行きたいと思っています。

高村 茉希 現場管理1年目



● 今年手がけた作業概要は

作業場所：秋田銀行イルミネーション
工期：令和4年10月24日～令和5年1月31日
点灯期間：令和4年12月1日～令和5年1月13日

● 全作業終了の感想をお願いします

気を付けたことは、交差点が近く人も車もよく通るため、接触しないように三角コーンなどで養生を行うこと。また、資材搬入のため敷地内での、車両の転回による屋根や縁石の接触防止のため誘導をすることです。



空間創造の
Landscaper

石黒 春花
設計デザイン2年目

● 仕事の流れ

お客様からのご依頼を受けて、諸先輩方と共に打合せや現場調査を行い、その内容をもとに図面を起こしたり、概算を作成したりします。またお客様への説明資料としてイメージパース等を描くこともあります。

● 気を付けていること・苦労していること

パースを描く際には縮尺や遠近感に気を付けるようにしています。本来であれば小振りな花が二倍ほど大きく見えて印象が変わっていたり、植えた木がイラストより大きくなりすぎたりして、イメージと違うなんてことになってしまいかねないからです。

● 今後の目標

植物の種類や特色などの基礎知識を身に付けることです。秋田の気候に合った植生や成長速度などはパースを描くときにはもちろん、お客様への提案時にどのような植物なら合うか、元気に育つのかなどの説明は知識を持っていた方がより良いものを提供しやすくなるだろうと思うからです。

● イメージパースについて気を遣っている点

遠景パースの経験はほとんどなかった為、植栽のサイズ感が大きくなりすぎたり人の賑わいを表現する時の分布が偏ってしまったりとバランスがうまくとれず、苦労しました。上村さんや先輩方からのアドバイスを受け、遠近や色味などに気を付けて描きました。

慣れない作業で大変でしたが、現場で形になった作品を見た時、この仕事のやりがいを感じました。

※パース…空間のイメージがわかりやすいように、一定の図法により建物の外観や内観を立体的に描いた透視図
石黒さんが描いた「フラワーガーデン」のパースデザイン▶



身近な観光資源の価値を見直し生かし、 日本造園学会東北支部



(写真上・左) 大湯ストーンサークル館と大湯環状列石の見学。



(写真上・左) 慶長年間のころから続く、東北地方有数の文化遺産、鳥潟会館の見学。



(写真上・右) 「秋田犬の里」で秋田犬に癒やされ、フランス進出も果たした「花善」の鳥めし弁当をいただきました。



2日目 エクスカージョン

学会二日目となる十日は、シンポジウムに関連する現地見学が行われました。あいにく雨の中での見学となりましたが、五色湖（緑地公園）、鳥潟会館（京風回廊式庭園）、秋田犬の里（昼食）、大湯環状列石などを見学。実際に観光資源を生かした今後の地域創生について、具体的に考える良い機会となりました。

地域創生をめざす。 秋田大会

IN
大館市

～ みちのく観光資源を活用した
取り組みから 地域創生への展開 ～



秋田公立美術大学
景観デザイン専攻
准教授 井上 宗則 氏

大館市の取り組みを話す
福原 淳嗣 市長



大湯ストーンサークル館
鹿角市教育委員会 赤坂 朋美 氏



環境省東北地方環境事務所
十和田八幡平国立公園管理事務所 所長
深沢 雪雄 氏



株式会社スノーピーク
代表取締役 高井 文寛 氏



東北芸術工科大学 教授
日本造園学会東北支部
支部長 渡部 桂 氏

1日目 シンポジウム



司会
日本造園学会東北支部
副支部長（実行委員長）
むつみ造園土木株式会社
常務取締役 佐々木 竜太

平成四年十月九日（日）・十日（月・祝日）、令和四年度「日本造園学会東北支部大会（公益社団法人日本造園学会のCPD認定プログラム）」が、第二十一回支部大会の一環で開催されました。

学会一日目となる九日は、「みちのく観光資源を活かした取組から地域創生への展開」をテーマに、日本造園学会東北支部（支部長・渡部桂東北芸術工科大学教授）の公開シンポジウムが開かれました。福原淳嗣市長はシンポジウムの歓迎挨拶で、大館市が五色湖周辺にグランピング施設を整備する「ノアソビSDGs事業」など、新型コロナウイルスで外出が制限された一方で身近な野外活動の価値と需要が高まり、地域資源の見直しと魅力の情報発信を実践している取り組みを紹介。また、アウトドア用品大手「スノーピーク」の高井文寛副社長、環境省十和田八幡平国立公園管理事務所の深谷雪雄所長、鹿角市大湯ストーンサークル館の赤坂朋美主任、秋田公立美術大学の井上宗則准教授が講演・パネルディスカッションを行い、北東北の魅力を発信すると同時に保護と利用の好循環・上質な滞在環境の創出について、それぞれの立場から目指す目標を話し合いました。

P21の巻...1位は㊦、2位は㊥、3位は㊤でした！

造園のエキスパートと、花のプロ集団との新たなコラボ 2022 Green & Flower Fes in AKITA



庭づくりと、身近な自然である公園の
新しい利用方法や融合をめざして

2022
グリーン & フラワー フェスティバル
in Akita
10.1(土) 10.2(日)
開催時間 10:00~17:00
開催場所 千秋公園
御本丸跡・二の丸跡
入場料 大人500円、小学生以下300円
主催：一般社団法人秋田造園協会
共催：秋田県造園協会、秋田県花井小売商業協同組合

造園の良さを知ってもらおうとともに自然を身近に体験し、心も体も健全な生活を送っていただきたいの思いから企画された「2022グリーン&フラワーフェスティバルin Akita」。

青空のもと、十月一日(土)・二日(日)の二日間、千秋公園本丸跡・二の丸跡で開催されました(秋田県造園協会主催、秋田県花井小売商業協同組合共催)。

当日は花苗販売やリース作りなどの体験セミナー、作業車両・乗り物体験や技術パフォーマンスのほか創作生け花コンテストやスラックライン、セグウェイ、キャンプエリアなど様々な企画が盛りだくさんで、千秋公園は二日間大いに賑わいました。

今回のイベントは、これまで公共・民間施設における外構景観など「エクステリアコーディネーター」を担ってきた造園業界と、メモリアルなど節目の彩り演出が主体な「フラワーデコレーター」と



リースづくりは
小さなお子さま
にも大人気♪

▲はたらく乗り物体験、重機の展示

▲キャンプエリア展示

▲バランススクーター&セグウェイ

▲クリスマスリースづくり体験

▲ロボット草刈機の実演

～ 創作生け花コンテスト 作品紹介 ～

クイズ 上位3作品はどでしょうか？
答えは、19ページで♪

- ① 「里山の思い出」
- ② 「平和祈願」
- ③ 「秋彩と潤い」
- ④ 「麗華」
- ⑤ 「緑の向こうに…」
- ⑥ 「秋田Autumn」
- ⑦ 「移」
- ⑧ 「小さな庭」
- ⑨ 「秋楽」
- ⑩ 「奏(～かなで～)」

して活躍してきた花弁業界が、新型コロナウイルスの感染拡大からの経済復興にあたり、SDGsやカーボンオフセットの達成に向けたグリーンリカバリーが世界中で取り組まれるなか、今後は人間生活環境の衣食住に総合的に関わる「ライフスタイルコーディネーター」に変化していくことも必要ということから生まれました。

秋田県造園協会の理事・企画技術委員長として佐々木創太社長をはじめ、弊社スタッフも奮闘しました。

佐々木創太社長コメント…「秋晴れのなか野外で創作生け花をすることで、大胆な発想が湧き、大きなフィールドを感じる事ができました。初開催でしたが、来場者には花と緑を体感し、楽しんでもらえたと思います。緑(植物)を生業とする造園業界としても『植物を通して人々の生活に憩いや安らぎを提供する』という、共通の目的を持つ秋田県花井小売商業協同組合と共催し、自然環境保護への取り組み状況等相互認識により、単調に見える芝生の上に創作生け花をかけることで形成された潤い空間を市民に提供できたことは非常に有意義でした。今後は情報発信をしっかりと行い、このイベントを定着させていきたいと思っています。」

石川理紀之助翁がつないでくれた縁、秋田と宮崎の交流

山田総合支所の一角にある図書室。入室してすぐ右手に、「石川理紀之助翁」はじめ偉人たちにに関する本や資料、秋田や都城市の話題など集めた展示コーナーがあります。展示効果は如実にあらわれ、石川翁たちに興味を持ち調査を始めた方々もいます。

守秘義務の壁があり、お会いしたことはありませんが図書室を介して、翁に関する情報や私の所有する冊子を差し上げたり、質問に答えたりしています。

ある日のこと。『日向の国の六ヶ月』の表紙の写真で石川翁の持っている「棒」は杖ではないです。すよね」とのご質問が。ここは、石川翁などの研究者・小林忠道さんにお聞きすることに。「あれは、探針という土壌調査などをする計測道具です。手元がTの字。針先は、土壌に突き刺した時、くぼみに土がつくように作ってあります。鍛冶屋で製作され重さもある道具で、当時も山田村に適した農産物を調査するために持参された」とのこと。さすがです。

困った時には、石川家や佐々木会長、小林さん、教育委員会等行政などに質問したり、資料送付をお願いしつつ秋田の方々に助けていただいています。そのたびに市民や児童、私の学びも深くなりま

事務局長 瀬之口ヤス子

石川理紀之助翁の伝承活動を行っている宮崎県都城市「山田のかかし笑劇団」の事務局・瀬之口ヤス子さんから、瀬之口さんが2009年に出版した「秋田からの爽風（翁が山田村に指導に訪れた内容の絵本）」を令和4年仕様に重版したと手紙がありました。問い合わせが時折あるようで、秋田県民としても大いに嬉しいことだと感じます。

思えばこの本から「翁の縁」を通して交流が始まり、2015年、当社で制作した『改革者』たちの奇跡 チーム『石川理紀之助』が現代に遺したものの」の発刊にもつながってきたのでした。

学校間交流も毎年のように続いており、2022年は12月15日～17日、潟上市の中学生9名と引率5名、計14名が都城市を訪れ山田中学校との学校間交流を実施しました。劇団の皆さんも関わったらしく、どんな交流がされたのか報告が楽しみですね。これからは翁が繋いだ縁と地域交流が、脈々と続いていくことを願っています。



除草後、石川翁胸像とともに笑顔満開！
左から岩邊八郎、鈴子、瀬之口・田中・山内。この日、松下さんは欠席。代わりに彼女が持参した花（秋桜）の話題を掲載。

御神木から月ヴァイオリン

山内氏は「思いや技術が結集し誕生したヴァイオリンで、故郷に恩返しをしたかった。今後は宮崎だけでなく全国各地の神社の催事や地元のお祭りなどを通して、地元



このヴァイオリンには、裏板に高千穂町「高千穂神社」の檜、表板に高野町「狭野神社」の狭野杉を使用。それぞれお祓いを受け預かり、ヴァイオリンドクターとして世界中のヴァイオリニストを支えている中澤宗幸氏が製作。一般的なヴァイオリンに使用される材質と異なるため、製作は困難を極め、二年の歳月をかけて完成させたということ。ヴァイオリンの裏板には、日本を拠点に活動し日本神話をモチーフにした作品を描くフランス人画家・マークエステル氏のイラストが、音色に彩りを添えています。

ヴァイオリンには「神祇—JINGI—」という名が付けられました。

山内氏は「思いや技術が結集し誕生したヴァイオリンで、故郷に恩返しをしたかった。今後は宮崎だけでなく全国各地の神社の催事や地元のお祭りなどを通して、地元



二〇一七年、グリーンサムのオープン一周年記念アルバムを制作いただいたことから当社との縁が繋がっている音楽家・山内達哉さん。生まれ育った宮崎の神社より授かったご神木からヴァイオリンを作り、十月には初のお披露目コンサートを開催しました。

宮崎県都城市からほっこりする話



～山田のかかし笑劇団有志から届いた「ふ・ふ・ふ」なお便り～

カルガモ凜ちゃん

久しく女人家族だったわが家。ようやく末娘に男の子が誕生しました。宇都宮在住の凜ちゃんは、現在3歳。帰省は長旅となり、コロナ禍で会うのを躊躇していましたが、私たち夫婦も高齢となりました。「今わの際（きわ）に枕もとで会うより、元気な時に会いたい」と頼み込んで、初めての帰省となりました。

凜ちゃんは、ニコニコ笑顔で好奇心旺盛。家人の後をカルガモみたいにトコトコついてまわります。振り向いてムギューと抱きしめ、老体を顧みずおんぶ、寝転んで両足に乗せてギョコンバタンとシーソーになったり。絵本の読み聞かせ、プール遊び、あぜ道の散歩。電車が大好きとあって、一家総出で観光列車「海幸・山幸」号に乗って小旅行も企てました。

アルバムには、笑顔満開で田舎暮らしを満喫した凜ちゃんがいます。横浜在住の孫娘2人も学校生活を大いにエンジョイしているとのこと。さあ、来年も元気で孫たちと会えます様に！ばあばは今日もラジオ体操に始まり、かかと落とし、スクワット、夜はヨガなどでせつせと体力維持に励んでいます。

「ヤシユ子ばあば！」の音が…。うん空耳か？
事務局 瀬之口ヤス子

八十路からの楽しみ
今日も遙か彼方に霧島山の雄姿を望む露天風呂で、至福のひと時を過ごしています。八十代半ばを迎えようとしています。目的地で温泉に行くようになり、釜風呂、水風呂、露天風呂等々温泉三昧の日課を過ごすようになって、これこれ五年ほどになりました。朝は、来客数が少なくても静かです。おかげで陽だまりの中に包まれて、申し訳ないような気持ちで、毎日温泉を楽しませてもらっています。

夜学生・村岡新之助の娘、田中ヨシ子

「都城のふ・ふ・ふ」と題したお便りとともに、笑顔が素敵な写真も届きました。遠く離れた都城の皆さんの光景が垣間見えるような内容でしたので、ご紹介します。

神の音に 涙止まらず 愛に満つ

2022年10月16日に息子・達哉たちの御神木ヴァイオリン—OTODAMA—コンサートが開催されました。今回のテーマは、御神木をめぐる数々の物語。

宮崎は、日本書紀などにしるされた「天孫降臨神話の里」です。その舞台となったのが、県北部・高千穂と南西部の霧島・高千穂の峰の2つの高千穂です。

演奏活動で訪れた神社で、樹齢何百年という御神木の偉大さに感動。縁（ゆかり）の「高千穂神社」と「狭野（さの）神社」2か所のご協力により倒木板を預かりました。この御神木から素晴らしい音色のヴァイオリンを製作し、その音色を世界中の人に届けたい。また、生まれ育った宮崎に文化芸術で恩返しをしたいとの強い願いがあったようです。製作を手掛けたのは、2人の巨匠です。世界に名だたるヴァイオリンドクター・中澤宗幸氏、裏板には、フランス人の画家・マークエステル氏の絵が描かれ9月に完成しました。

さて、コンサート会場には、見事に素晴らしい御神木ヴァイオリンの音色が響き渡り、700人の観衆を感動の涙で包み込みました。授かった名前は神祇—JINGI—。神様からのメッセージが伝わってくるような壮大な思いを感じることができました。会場には、千葉県から駆け付けて下さったA氏の姿があり、「神の音に 涙止まらず 愛に満つ」の言葉をいただきました。このA氏との出会いも奇跡的なご縁です。実家は山田町で、歴史が大好きな方。絵本・秋田からの爽風が取り持つご縁や、ご自身が調査された石川翁の情報についてもフェイスブックに広く投稿されています。A氏は、かねてから無人となった実家の土地600坪を心ある人に譲りたいとの強い思いがあり、これも投稿されていました。以前から、山田で田舎暮らししてみたいと言っていた息子。双方の思いがマッチして、とんとん拍子に広大な土地を受け継ぐことになりました。

屋敷からは、東に山田（花舞）神社、前方にはクッキリと霧島山がそびえ絶好のビュー。仕事の本拠地は東京ですが、この地でも回りは静かな田園風景が広がり、作曲等に集中できる環境が整いました。

私から見れば、まさに石川理紀之助翁からのプレゼントのようでした。

音響 山内 朱美



家族が増えました!!

実は今年8月頃、近所に居候していた母ネコと子ネコ3匹がわが家の庭に勝手に引っ越してきました。最初はビクビク警戒していましたがエサをやり可愛がっていたら、わが家の庭が気に入ったようで、すっかり慣れてゴロンゴロンしています。

こちらも癒やされながら
ネコたちとじゃれていきます。



代表夫妻：岩邊八郎・鈴子

秋桜が風にゆれて

年に4回ほど笑劇団有志で石川翁の胸像・しまうつりの碑周辺の除草作業をします。暖かな春。除草後、家から持参した草花をみんなで植えました。

暑い夏を乗り切り、ようやく花が咲きました。大きな台風が来るたびにヒヤヒヤしながら見守りました。黄色・オレンジ色のキバナコスモス・ピンク色のセンニチコウ…。時々、町行く人たちから「花がきれいね」と声をかけられます。風雨にも負けず、上へ上へと向かって咲いているかわいい姿を見て、ほっとすると同時に癒やされています。まるで、石川理紀之助翁が温かい心で見守っていて下さるかのようです。これからも、毎年新しい花を咲かせたいです。

キャスト：松下美子（みこ）